

佳作

子どもと暮らす家



鶴崎工業
安東 華澄



鶴崎工業
佐藤 美空

設計主旨

私たちは今回、小さい子どもがコロナ禍での運動不足が解消できるような家を設計しました。この家には走り回れる広いデッキや母親が遊んでいる子どもをキッチンから見守れるようにデッキに面して大きな窓を設けました。

また、全身を使った遊びができるように、吹き抜けになる部分とウッドデッキにアスレチックネットを設置し、子どもも大人も揺れたり・跳ねたりできる遊び心のある楽しい家になりました。

大きな窓から入り込む自然光は柔らかい印象を与えることができ、さらに消費電力の軽減にもつながると考えています。

設計場所は別府市の亀川としました。山の斜面で海が良く見える場所です。地面を少し上げることで地下に駐車場を作り、ウッドデッキからより海を楽しめるようにしました。こうすることで外に出なくても広大なロケーションを感じながら、家の中でリラックスすることができます。

